

<凡 例>

大学・学生側から見た良い事例を集めました。

大学名：非公開

記載事項：

- ・区分：病院、薬局
- ・カテゴリー（※）
- ・よい実習を行った各施設の特徴（見出し）
- ・具体的な説明（概要）及びまとめ

実務実習実施日程（原則）

第Ⅰ期：2023年2月20日（月）～5月7日（日）

第Ⅱ期：2023年5月22日（月）～8月6日（日）

※カテゴリー

- 1.薬物療法の実践
- 2.在宅医療における薬物療法の実践
- 3.医療連携の体験
- 4.チーム医療の実践
- 5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施
- 6.地域包括ケアの実践
- 7.充実した実習環境と指導体制の構築
- 8.災害時医療の体験
- 9.その他

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
薬局	1.薬物療法の実践	服薬指導時の患者との関わり	かかりつけの患者様の服薬指導を期間中に2回行くことがあり、定期処方や慢性疾患での服薬指導だけでなく、生活や患者様のお話などコミュニケーション面でも非常に学びになった。また、応援の言葉もいただきうれしかった。
薬局	1.薬物療法の実践	季節性疾患（花粉症）服薬指導の充実と処方提案	1期は花粉症の症例を経験することが多かったため、指導薬剤師の確認の元、処方提案や疑義紹介を行うまで学習をすすめることができた。同一症例での繰り返しの学習が大変有効であった。
薬局	1.薬物療法の実践	初回服用患者への指導の実践	今までに一度も薬を飲んだことがない患者さんへの服薬指導を担当させてもらった。薬の副作用の説明で少し不安を与えるような伝え方になってしまったが、指導薬剤師がフォローしてくれた。こういう挑戦をさせてもらえる実習は本当に貴重だと感じた。
薬局	1.薬物療法の実践	がん患者に対する電話フォロー	がん患者への電話フォローを実践し、薬剤の使用期間中を通じて、患者が安心できる最適な薬物療法を提供することの重要性を理解するとともに、電話フォローの問題点についても考察することができた。
薬局	1.薬物療法の実践	服薬指導	監査されたお薬をもう一度確認した。また、お薬手帳から服用しているお薬の確認を行うことができた。点眼薬や点鼻薬、吸入薬は正しく使用してもらうため操作方法の確認を行うことができた。前回の症状の確認や残薬の確認によって、お薬がきちんと使用できているかの確認を行うことができた。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
薬局	1.薬物療法の実践	充実した服薬指導等によるコミュニケーション力の向上	初週から服薬指導をさせていただき、たくさんの症例に触れることができた。それから多くの機会の中で反省点を改善することで、自分のスキル向上につなげることができた。また、疑義照会や製薬会社に問い合わせを体験したり、在宅医療実習においても3名の患者の担当をさせていただいた。この11週間でコミュニケーション力にすごく自信がついた。
薬局	1.薬物療法の実践	代表的な8疾患に対する網羅的な実習の実践	代表的な8疾患の全てに対する服薬指導実習を実践することができた。
薬局	1.薬物療法の実践	トレーシングレポートの回答	トレーシングレポートを学生に記載してもらい、それを元に指導薬剤師が医師と直接ディスカッションし、トレーシングレポートに対する医師側の意見を直接聞き、より詳しい医師の考えを実習生に伝えることができた。
薬局	1.薬物療法の実践	外来化学療法を受ける患者に対する薬学ケアの実践	外来化学療法を受ける患者への薬学ケアを実践し学習することができた。
薬局	1.薬物療法の実践	抗がん剤治療患者のフォローアップの経験	抗がん剤をスタートした患者さんのフォローアップを行い、次回受診までに主治医に報告し、処方提案まで行えた。また、処方された後のフォローアップにより、症状改善まで確認ができた。
薬局	1.薬物療法の実践	関与した症例の薬物療法に対する深い考察	関与した症例に対する処方解析の課題が毎日1処方ずつ出題される。病態と薬の作用について調べ、翌日指導薬剤師とディスカッションすることにより、様々な疾患や病態について理解ができるようになり、薬の適応症、作用機序が覚えられ大変勉強になった。
薬局	1.薬物療法の実践	投薬機会の多さとそれに対するフィードバックの充実	投薬を行う回数が増え、徐々にどういうことを言うのか、聞くのか、どういう流れで行くとスムーズに行えるのかなどがわかってきた。また、投薬の際に基本的には後ろで見守ってもらい、どうしても詰まったときだけ助けてもらうスタイルが多くなってきたため、自分で考えて行うことができおり良い実習になっている。
薬局	1.薬物療法の実践	代表的な8疾患に対する網羅的な実習の実践	代表的な8疾患の全てに対する服薬指導実習を実践することができた。
薬局	1.薬物療法の実践	代表的な8疾患に対する網羅的な実習の実践	代表的な8疾患の全てに対する服薬指導実習を実践することができた。
薬局	1.薬物療法の実践	実習最初期から服薬指導を行い、多くの症例、継続的な指導を体験できた例	実習1週目から、代表的な8疾患を念頭に置きながら服薬指導を体験し、実習終了までに延べ100回以上の服薬指導を実施することができた。また最初期から関わることで同一患者を継続して対応することもできた。学生は継続した薬物治療に関わることの重要性、トレーシングレポートやテレフォンプォローなどの様々なツールを使つての患者サポートを学ぶことができ、自らの将来について具体的なビジョンを描けるようになった。
薬局	1.薬物療法の実践	小児への服薬指導	小児への服薬指導において、当該漢患児ではなく両親への説明の難しさを学習した。親は患児の痛みや苦しみを全て理解できないことからの不安から服薬効果や副作用に関して神経質になり過ぎることもあり、服薬指導には言葉を選ぶことを学んだ。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	充実した在宅医療の実践	末期癌の在宅患者さんの所に伺わせて頂いたときに薬剤師の役割など多くを学ばせて頂いた。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	充実した在宅医療の実践	在宅訪問特に看取りの患者さんと関わることがとても印象に残った。終末期医療の在り方や薬剤師のできることにについて学ぶことが出来た。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	在宅療養患者に対する継続的な服薬指導実習の実践	同じ在宅療養患者に対して複数回の服薬指導実習を経験できたことで、在宅医療における薬剤師の係りを深く学習することができた。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	高齢独居患者との関わりと薬剤師側のアプローチ	高齢独居患者の服薬管理、血圧・糖尿数値にかかわる栄養状況、可動域範囲内での運動状況の聞き取りをし、ケアマネージャー、介護福祉士と連携をとる大切さを感じ取ることができた。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	在宅患者における患者さんとの関わり。	毎週実習生と1人の患者様の自宅に訪問。吸入がうまくできなく毎回訪問時に吸入指導をしてもらいました。実習の終わりごろには吸入するたびにあなたの顔がうかんでくるとおっしゃられ、実習生もやりがいを感じている印象を感じることができました。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	胃ろう・在宅酸素・中心静脈栄養など特殊な治療を行っている患者さんの見学	胃ろう・在宅酸素・中心静脈栄養の患者宅にて在宅での生活・手技を見学し、実際の状況を見ることで理解が深まったようです。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	複数患者との関わり	複数患者の訪問をすることで、患者ごとで薬の管理等、家での様子の違いを感じられた。家の様子を見ることで、同じ薬でも、患者背景を考慮した服薬指導の必要性を実感してもらえたと考える
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	患者の最期に関わる	在宅の開始から亡くなるまでを通して経験することが出来た。人の生死に関わっている仕事であることを身をもって経験できた。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	他職種との連携	在宅で収集した情報を主治医だけでなく、患者に関わる多職種と情報共有ができた。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	オンライン服薬指導	コロナ患者さんや抗がん剤による副作用のフォローアップを電話で行い、継続的な患者確認の重要性を理解できた。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	糖尿病患者のアドヒアランス向上	在宅医療において1人の患者に継続的に3ヶ月指導させていただき、患者様の信頼を得ることができ、薬の分類やセットを一緒に行い、アドヒアランス向上ができた。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	在宅医療・介護における多職種会議への参加	1. 介護保険利用者の「サービス担当者会議」に出席し、そこで何が語られているかを体験した。複数の医療機関を受診していた患者さんが、ひとつのクリニックの受診にまとめることで薬剤の整理がしやすくなった事例を経験できた。そこで、実習先の薬局も関わりポリファーマシーの解消に意見を述べている姿を見ることができた。 2. 要支援の方の「地域ケア会議」に出席した。地域で今までどおりの暮らしが続けられるように話し合われていた。カラオケなども利用しているとのことで、介護予防における自立支援という概念が理解できた。（1のサービス担当者会議との違いが分かった）
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	サービス担当者会議への参加	サービス担当者会議へ参加することで、在宅医療における様々な職種の役割を体験することができた。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	在宅療養患者に対する継続的な服薬指導実習の実践	同じ在宅療養患者に対して複数回の服薬指導実習を経験できたことで、在宅医療における薬剤師の係りを深く学習することができた。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	在宅医療における薬剤師の役割	認知症患者宅への訪問薬剤管理指導に同行し、問題点を考えて服薬支援について学習できた。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	在宅療養患者に対する継続的な服薬指導実習の実践	同じ在宅療養患者に対して複数回の服薬指導実習を経験できたことで、在宅医療における薬剤師の係りを深く学習することができた。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	在宅医療	在宅をメインに行う施設であるため、在宅医療の現状、多職種から求められる薬剤師の在り方を体験し考えることのできる施設だった。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	在宅医療	1週または2週に1度患者宅に訪問し、経過を追うことができたため、病状の変化に伴い薬物治療も変わっていく。処方変更後も症状の改善や副作用発現などの経過を見ることができたため病態と治療薬のつながりが鮮明に見えた。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	在宅医療	在宅訪問の際に、服薬困難な患者に対して、処方薬の剤形変更の提案がすぐに行えるためには、日頃から服薬しやすい剤形についての知識を深めることが大切であると学んだ。
薬局	2.在宅医療における薬物療法の実践	問題を抱えている在宅患者の現実	身体が不自由な上に家族の協力を得ることの出来ない方のご自宅に伺った時には自分で服薬することが難しいのに、家族の方は「全然自分でなんでないんですよ、どうかしてください」と言うばかりで協力しようとしていない様子を目の当たりにしました。そこで毎回直接のむ手伝いをする訳にはいかないので薬剤師として出来ることの限界を感じたところが印象的だった。
薬局	3.医療連携の体験	多職種との関わり	在宅患者の医師の往診の立会いやケアマネージャー等との担当者会議への参加を通し、地域医療における薬局薬剤師の役割を学ぶことができた。
薬局	3.医療連携の体験	循環器患者への服薬フォローアップ	循環器の患者が多く、服薬フォローアップ指導やその啓蒙活動を学べた。
薬局	3.医療連携の体験	退院カンファレンスの参加から看取りまでを実践	退院カンファレンスに関わり、他職種の人と連携しながら、退院した後どのように生活していくかなど話し合いに参加し、看取りまでを体験することで、薬剤師として患者さんに対してできることやその限界について考える機会を得ることができた。
薬局	3.医療連携の体験	2施設から処方された重複医薬品の整理と患者への服薬指導	入院先病院の退院処方と外来通院医院から同じ医薬品が処方されていたことに気づき、実習生と1年目薬剤師によって、医薬品を整理し、病院ならびに外来通院医院に連絡し、患者の重複服用を防ぐとともに、患者への服薬指導を実施した。
薬局	3.医療連携の体験	患者からの訴えに対する医師へのフィードバック	患者の病態を聞き取り、患者から訴えのあった事象について、指導薬剤師の指導の下、実習生が自ら医師に相談し、患者のケアに務めた。

病院/薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
薬局	3.医療連携の体験	多職種の前で薬学的観点からの提案（プレゼン）を行った例	<p>1) 自立支援会議（参加者：医師・看護師・ケアマネージャー等）：高脂血症と高血圧の薬を飲んでいる患者（症例）について、各職種がそれぞれの専門性を生かして発言する機会があった。薬学的観点から発言が出来るよう準備し、実際に患者さんに対するアドバイスを発表した（エアコン使用での血圧変動による、めまいやふらつきと転倒リスク予防等）</p> <p>2) 小中学校合同保険委員会（参加者：教諭・医師・歯科医師・保護者等）：指導薬剤師が「歯に優しく糖分の少ないスポーツドリンク（作り方など）について」というテーマで話をした際に、実習生がスポーツドリンクを飲む時の注意点について少しアドバイスをすることになり、事前に情報収集を行い発表した。</p> <p>学生本人が「薬剤師目線で自分の意見を主張することができ、なかなかできる経験ではないと思うのでとても勉強になった。」と感じており、地域会議に同行するだけでなく、事前に準備を行い実際に発言させてもらったことは、大変貴重な経験であった。</p> <p>また、自立支援会議で発表を行い、医師会の先生はじめ皆さんからお褒めの言葉をいただいたことは本人の自信にも繋がった。</p>
薬局	4.チーム医療の実践	在宅における多職種連携	在宅に力をいれており多職種での連携が勉強になった。
薬局	4.チーム医療の実践	在宅業務におけるチーム医療の実践	医師との往診同行、連携の実際を体験し、その重要性を学ぶことができた。
薬局	4.チーム医療の実践	在宅医療におけるチーム医療の実践	施設訪問、担当者会議などを含めた在宅業務の経験を通して、実際に薬剤師がチーム医療の一員として必要とされていることが実感できた。
薬局	4.チーム医療の実践	多職種連携会議への参加	退院時カンファレンス・担当者会議・訪問診療同行し、薬局薬剤師がどのようにチーム医療に関わっているのかを学ぶ機会を知れたようです。
薬局	4.チーム医療の実践	居宅療養管理指導の実践	毎週同じ患者様に訪問・指導を行い、薬のことだけでなく、生活に関する問題点をケアマネージャー・医師へ報告書作成行ってもらいました。毎週訪問することで経過がわかり、よりより薬物治療・在宅医療の実践を行えたようです。
薬局	4.チーム医療の実践	施設看護師との入居者への薬の情報交換	施設へ指導薬剤師と訪問同行し、入居者への処方薬について情報交換を定期的に行い、医療関係者と薬や治療について話をする事ができた。
薬局	4.チーム医療の実践	クリニックとの連携	門前クリニックの週1回の朝礼に実習期間中毎週欠かさず参加した。処方医の医療又は患者に対する考え方や熱意を体感し、学ぶ事ができた。薬局⇔患者間のやり取りで完結するのではなく、多職種の関わる医療の中での薬剤師の立ち位置というものを意識できたと思う。
薬局	4.チーム医療の実践	多職種とのかかわり	地区薬剤師会主催のケアマネージャーとの情報交換会に参加し、いつでも相談できるなどのお互いに顔の見える関係性の構築も必要であると感じることができた。
薬局	4.チーム医療の実践	ICT/ASTの見学	ICT/ASTの見学をした際、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師さんので抗菌薬使用患者さん情報の一覧表をもとに使用状況を確認し、耐性菌が生じないように適正使用についての話し合いが印象的でした。同時に、病棟を周り感染対策がなされているか項目ごとにチェックし改善点がある際は、意見の交換が行われていました。また、その会議のことを翌日の薬剤部の朝礼で報告することで患者情報を把握する重要性も同時に感じました。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
薬局	4.チーム医療の実践	在宅医療における多職種連携	サービス担当者会議に同行し実習を行うことで、医師や看護師だけではなくケアマネージャーやヘルパーなどと情報共有を行い、服薬の問題点などに薬剤師が提案していくことの重要性を学ぶことができた。
薬局	4.チーム医療の実践	チーム医療並びに在宅や施設患者への指導を多く経験した例	薬局内での調剤業務や来局者対応だけでなく、患者さん宅や施設への訪問もたくさんさせて頂き、薬局外での薬剤師の活躍を知ることができた。また、医師や看護師、ケアマネージャー、施設のヘルパーさんなど様々な職種の方々と薬剤師がどのように関わっているのかについても学ぶことができ、とても充実した薬局実習になった。学生はチーム医療を体験でき、薬剤師としての関わり方を深く学べた。在宅や施設患者の問題点に対する関わり方を学び、患者ごとに適切な治療を考える力がついた。
薬局	4.チーム医療の実践	施設看護師との入居者への薬の情報交換	施設へ指導薬剤師と訪問同行し、入居者への処方薬について情報交換を定期的に行い、医療関係者と薬や治療について話をする事ができた。
薬局	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	同一グループ内薬局での合同勉強会	薬局による特殊性による実習生の学びの偏りをなくするため、2軒の薬局で数回の合同勉強会が実施されていた。実習生が他の薬局の情報を共有できて学びが広がった。
薬局	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	宮崎県内で薬局実習を行っている薬学生対象の合同体験講習会の開催	午前には6つのテーマで講義が行われた。①セルフメディケーションにおける薬剤師の役割、②健康サポート薬局の役割・活動、③介護保険・在宅医療の手引き、④宮崎県における災害医療の薬剤師の活動、⑤災害医療での薬剤師の活動、⑥薬物乱用等に係る薬剤師の関わり、である。午後は薬局製剤実習、学校薬剤師の仕事体験（飲料水の検査・空気検査・照度検査・ダニ・ダニアレルゲン検査・ホルムアルデヒド検査）が行われた。なお、他大学の学生も含め計19名の参加があった。
薬局	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	関連薬局（心療内科を多く応需）における実習	実習薬局では関わることのできない領域（心療内科・耳鼻科・眼科）の処方箋を多く応需する関連薬局での実習が行われ、病態や薬物治療、患者への対応等について学習することができた。
薬局	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	協力薬局とのグループ実習の実践	実習期間の後半で、実習薬局とは別の薬局での実習を経験できたことで、薬局毎の業務内容の相違を学習できたとともに、より多くの疾患の患者さんに対する服薬指導実習を実践することができた。
薬局	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	薬局ごとの環境相違	グループ内の他薬局数店舗にて実習。門前医療機関、応需科、店舗規模、立地、取り扱いアイテムの相違等を視認し、薬局環境の違いを学習した。
薬局	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	医療用麻薬の点滴調剤の講義	協力薬局では医療用麻薬の点滴調剤が日常的に行われており、自薬局では学べない調剤方法や充填器具などをzoom講義で学ぶことができた。
薬局	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	在宅患者への訪問薬剤指導	自局では在宅患者がいないため、グループ薬局の他店舗に協力を依頼し、継続的に訪問薬剤指導を見学、実践することができた。
薬局	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	薬局製剤、漢方製剤	近隣にある漢方専門薬局に協力を依頼し、講義を含め、実際に調合や試飲などを行いながらの参加体験型の実習ができた。
薬局	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	協力薬局・グループ薬局における代表的な8疾患に関する実習の実施	特定診療科の門前薬局への実習であったが、協力薬局・グループ薬局に協力を要請して代表的な8疾患すべてに対応することができた。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
薬局	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	協力薬局とのグループ実習の実践	実習期間の後半で、実習薬局とは別の薬局での実習を経験できたことで、薬局毎の業務内容の相違を学習できたとともに、より多くの疾患の患者さんに対する服薬指導実習を実践することができた。
薬局	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	宮崎県内で薬局実習を行っている薬学生対象の合同体験講習会の開催（7月2日〔日〕）	午前には6つのテーマで講義が行われた。①健康サポート薬局の役割・活動、②介護保険・在宅医療の手引き、③宮崎県における災害医療の薬剤師の活動、④災害医療での薬剤師の活動、⑤薬物乱用等に係る薬剤師の関わり、である。午後は薬局製剤実習、学校薬剤師の仕事体験（飲料水の検査・空気検査・照度検査・ダニ・ダニアレレルゲン検査・ホルムアルデヒド検査）が行われた。なお、他大学の学生も含め約20名の参加があった。
薬局	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	協力薬局とのグループ実習の実践	実習期間の後半で、実習薬局とは別の薬局での実習を経験できたことで、薬局毎の業務内容の相違を学習できたとともに、より多くの疾患の患者さんに対する服薬指導実習を実践することができた。
薬局	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	地域包括ケアにおける様々な薬局業務への参画	市内の他の薬局や、介護予防教室等、色々な場所で見学、体験、実習することができた。
薬局	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	他病院の処方箋に触れる機会、関わり	指導薬剤師の資格を持つ薬剤師がいる薬局にて2日間実習。他の病院、科の処方箋に触れる機会を作る。
薬局	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	夜間診療	夜間見学では、発熱や蕁麻疹などの症状で来院される患者さんが多く、投薬台にくる患者さん、あるいはそのご家族の表情が暗い方が多かったが服薬指導を終えた後は笑顔で帰られていく様子を見て感銘を受けた。
薬局	6.地域包括ケアの実践	薬剤師を目指す学生にとっての貴重な経験	指導薬剤師の先生方にご指導いただきながら、『薬の正しい服用方法を学ぶ出前講座』で、地域の方々へ説明の機会をいただき、薬剤師を目指す学生にとって貴重な経験となった。
薬局	6.地域包括ケアの実践	在宅医療の実習	在宅の症例が多い薬局で毎週同行して実習を行った。在宅における現状と解決すべき課題を理解し、実習報告書としてまとめることができた。
薬局	6.地域包括ケアの実践	介護認定審査会、地域ケア会議への同席	薬局内の実習に留まらず、地域の多職種が参加する介護認定審査会や地域ケア会議への同席を許され、地域包括ケアシステム内での保険薬局の役割や今後為すべきことを学生が実感できた。
薬局	6.地域包括ケアの実践	在宅訪問など地域における薬局業務への参画	実習初日から在宅治療をされている患者さん宅や施設へ同行させてもらった。また、担当者会議に参加することで、患者さんのご家族、ケアマネージャー、訪問看護師、デイケア施設の職員や看護師など様々な職種の方が関わっていることを知った。実習開始初期からこのような体験をしたことで、患者さんやご家族に寄り添う薬剤師について具体的なイメージを掴むことができた。
薬局	6.地域包括ケアの実践	地域ケア会議への参加	地域ケア会議に参加し、地域包括ケアの仕組みや実際の取組をより深く学習することができた。
薬局	6.地域包括ケアの実践	在宅医療における看取り体験	在宅医療の実践で実習中の患者さんの看取りを複数人体験することができた。
薬局	6.地域包括ケアの実践	地域ケア会議の見学	地域包括支援センターが主催する地域ケア会議を見学してもらい、地域包括ケアシステム・地域ケア会議について直接経験してもらいました。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
薬局	6.地域包括ケアの実践	地域ケア会議の見学	実習期間中、地域ケア会議が2回あり、2回とも見学することができた。地域ケア会議で使用する資料も見せていただき、薬剤師の視点でこういった助言すればいいのか、こういった助言が求められるのかについて学ぶことができた。
薬局	6.地域包括ケアの実践	地域ケア会議の見学	地域包括ケアシステムについての講義をしたのち、実際の地域ケア会議を見学してもらった。同じ事例に対しても職種によって視点が異なることを実感でき、多職種で関わる事への有用性を実感できたと思われる
薬局	6.地域包括ケアの実践	地域包括ケアシステムに基づく担当者会議の見学	薬局薬剤師の地域連携について、地域包括ケアシステムに基づく担当者会議を数回見学させていただき、薬局内だけでなく、地域で活躍する薬剤師についても理解することができた。
薬局	6.地域包括ケアの実践	オレンジカフェ（認知症カフェ）への参加	実習先近隣の公民館で開催されているオレンジカフェ（認知症カフェ）へ参加した。このカフェでは、薬剤師の他、看護師やケアマネ、ヘルパーによる相談会も併設されており、包括ケアにおける薬剤師及び「多職種」の役割について学ぶことができた。このカフェ実習には他の薬局の実習生も参加した。
薬局	6.地域包括ケアの実践	市役所福祉部門及び民生委員による実習	市役所福祉部門での見学実習および民生委員との在宅同行実習を行った。包括ケアにおける薬剤師及び「多職種」の役割について学ぶことができた。実習には複数薬局の実習生が参加した。
薬局	6.地域包括ケアの実践	在宅見取りの見学実習	在宅見取りの見学実習を行った。包括ケアの意義を深く学ぶことができた。
薬局	6.地域包括ケアの実践	地域ケア会議への参加	地域ケア会議に参加し、地域包括ケアの仕組みや実際の取組をより深く学習することができた。
薬局	6.地域包括ケアの実践	離島診療所における薬剤師の関わり	離島診療所での薬剤師業務を体験し、離島における医療の問題点や改善策について考察することができた。
薬局	6.地域包括ケアの実践	地域包括ケアにおける薬剤師の役割	介護施設や老人ホーム、在宅業務、学校薬剤師・地域での薬剤師活動等の幅広い薬局業務に参画し、地域包括ケアにおける薬剤師の重要性を学習できた。
薬局	6.地域包括ケアの実践	地域ケア会議への参加	地域ケア会議に参加し、地域包括ケアの仕組みや実際の取組をより深く学習することができた。
薬局	6.地域包括ケアの実践	在宅・学校薬剤師などの地域包括ケアにおける様々な薬局業務への参画	学校薬剤師の見学に行ったことで衛生に関わる薬剤師の役割を考えることができた。子供たちが1日のほとんどの時間を過ごす学校の環境を整える仕事であることを改めて考えるきっかけになった。
薬局	6.地域包括ケアの実践	学校薬剤師などの地域包括ケアにおける様々な薬局業務への参画	水質調査と保健委員会に参加させていただいた。保健委員会という項目が学校薬剤師にあることを初めて知り、薬剤師としてこのような関わり方もあるのだと学ぶことができた。
薬局	6.地域包括ケアの実践	オレンジカフェへの参加	実習薬局の地域で行われているオレンジカフェに参加し、指導薬剤師のイベントに協力したほか、訪問看護師の相談コーナーの活動を見学した。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	実習内容の情報共有	県内の合同研修で他の薬局についても情報共有できて良かった。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	オンタイムの指導体制	服薬指導後に指導薬剤師から改善点の指摘を受けて、どこが悪かったのか、どうすれば良い服薬指導になるかをその場で理解することが出来たこと。また処方目的が分からない処方箋に対して医師に直接質問でき、リアルタイムに疑問点を解決できた。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	十分な質と量の実習内容	土曜日もフルタイムで実習をおこなっていただくことがあり、日曜日も薬剤師会がおこなう研修等が多く組まれた。日々の実習でも講義の時間があり、日誌のコメントもしっかりと記入していただいた。学生は55日間、しっかりと学ぶことができた。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	学生の能力に合わせた処方箋の選択	通常は実習生は薬品数の少ない簡単な処方を中心にするが、学生によっては少し難しい処方にも対応することができると判断し、盛りだくさんの慢性疾患や難病、特定疾患の処方を中心に調剤や服薬指導をしていただいた。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	指導薬剤師による地域学校薬剤師会への実習生の参加	薬局実習において学校薬剤師業務を実習することは重要であるが、地域学校薬剤師会が開催されており、指導薬剤師とともに実習生が参加させていただくことで更に学びが深まった。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	合理的配慮を要する学生に対する柔軟な実習環境の構築	学生および保護者の了承を得た上で、当該学生の特性や配慮事項等について事前に指導薬剤師に説明し、実現可能な実習方略について協議した。その協議に基づいて計画した方略によって11週間の実習を完結することができた。なお、本実習では、指導薬剤師だけでなく、実習施設の他のスタッフとも良好な関係を築くことができ、学生の成長も確認することができた。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	指導体制の充実	指導薬剤師以外にも、多くの薬剤師の先生方に指導に参加することで、計数調剤から投薬、在庫管理、薬剤の知識まで、学びの場を数多く提供していただいた。処方解析や日々の調剤を通して、薬剤、病態、治療などのすべての知識を繋げて考えること、病院での治療についても学ぶことができた。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	実習生の段階的な知識・技能向上を目指した実習	実習前半は、ピッキングなどの薬に慣れる実習、座学による基礎的知識の定着をしていただいた。中盤は症例を見ながら、医薬品の実際の使い方を考えたり、服薬指導のロールプレイを行っていただいた。終盤は実際に服薬指導をさせていただきこれまで学んだことを発揮できた。段階的に進めてもらえたことがありがたかった。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	十分な準備時間を確保した効率的な服薬指導実習	指導薬剤師から翌日の服薬指導予定患者を教えていただいたため、事前に薬歴を十分に確認し、説明すべき内容や質問事項等をしっかり考えることができた。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	見学（卸・製薬工場）	法規や製薬学など、実際に見学して目にすることで、座学で学んであやふやだった知識を活用できるものに変換出来ていたようだった。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	NICUの体験	生まれてたった数日の赤ちゃんに対し、自分が調剤した輸液を点滴していただいたことは、とても緊張しました。それと同時に、実習生という立場で未熟ではありますが、自分が生まれて数日の子の命をつなぐお手伝いできたということに感動しました。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	病院実習を考慮した指導	薬局実習後の病院実習のことも考えて、病院で実習する内容を踏まえた指導についても時間が空いた時にあった。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	幅広い薬剤師業務への参加型実習の実践	薬局内では服薬指導や薬歴記載を始め、調剤や監査などを教わり、薬局外では在宅訪問や学校薬剤師の業務、地域活動の一環に多く参加させていただき、とても充実した薬局実習となった。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	漢方薬の実習	弁証論治の体験や自分に合った漢方薬の調剤体験を通し、個別最適化の意義を理解できた。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	地域における薬剤師会と病院薬剤師会合同の実習報告会の開催	地域において、薬剤師会と病院薬剤師会が合同で実習報告会を開催し、薬局実習を終えた学生に対し、病院薬剤師が病院側から質問やコメントをすることにより、学びが深まった。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	学生に主体的に考えさせつつ丁寧にフィードバックする実務実習	実習期間中、薬物療法から在宅医療まで、様々な内容について実習生の主体的・能動的な学習を育むようご指導頂くと共に、学生の記載した日報に対して毎日、指導薬剤師の複数の先生から異なる視点に立って適正かつ丁寧にフィードバックして頂いた。学生は調剤や薬物療法について学ぶだけでなく、地域医療において薬局が果たすべき役割や患者の立場に立って在宅医療に関わり服薬指導をすることの大切さを学んだ。また指導者から教わるだけでなく、自ら考えて主体的に学び取ることができるようになった。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	車椅子での公正公平な実務実習体験を行うために薬局実習施設に御協力頂いた例	<p>実習生が疾患による影響で歩行障害を持っており、普段から車椅子で生活を行っている者だった。症状が安定しておらず、状況により短時間の歩行であれば可能な日と、下肢の浮腫が強い日は立ち上がる事もままならない状況であった。</p> <p>実習施設の選定から、関東地区調整機構及び神奈川県薬剤師会、埼玉県薬剤師会に御尽力頂いた上で、各エリアの担当者の先生方にご相談させて頂きながら実習先の選定を行った。当該薬局では、車椅子での実習生を受け入れるにあたり、薬局施設内の環境整備や実習生用の折り畳み式作業台の購入など積極的に御協力頂き、実習中も大きな問題なく遂行する事が出来た。</p> <p>実習生が普段から利用している電動車いすでは調剤室内に入る事は難しいため、キャスター付きの椅子に乗り換えて薬剤師の先生が移動の補助をして頂く形で対応して頂いたため、通常業務にも大きな影響が生じていたと考えられる。</p> <p>学生は在宅訪問や地域医療への参画については、学生の移動が困難であったため講義でのご対応となったがそれ以外については通常の実習生と同様に体験実習を行う事が出来た。身体的な理由から実習に強い制限が生じると懸念していたが、実習施設の先生方の御協力により公正公平な実習体験が出来た。</p>
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	多くの症例に関わらせて頂き、フローアップが丁寧で多くの実習と知識情報との関わりを繋げながら実習を行った例	<p>実習期間中、多くの患者さんと関りを持たせてくれるとともに、併せて疾患についての知識や情報を提供して頂いたため、リアルな知識が身についている。また、他の関連薬局との連携も取られており、幅広い情報を吸収できた。</p> <p>学生がどの程度理解したは不明な部分もあるが、単なる知識ではなく臨床との結びつきを認識できたと思われる。</p>
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	施設全体の实習	調剤や服薬指導はもちろんのこと、病院の説明、チーム医療や他部門見学などもあり、病院の機能や役割などをしっかり理解した上での実習ができた。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	多職種連携	薬局で取り扱っている介護用品について、一度登録販売者の方に一通り説明していただき、それを聞いたのち、実習生がきちんと理解できているかの確認の意も含めて改めて説明し直してみるという実習が、理解度がより深まって大変良かった。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	薬局における様々な体験	薬剤師の講習会、講演会、地域のイベントに積極的に参加させてもらった。大学では聴けない話や体験ができたため、非常に充実していた。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	実習日数の確保	実習生より大学教員へ母親の手術・通院のため、実務実習を数日休みたいとの相談があり、大学と実務実習施設様で協議した結果、土曜日に振替の実習を行なって頂けたため、十分な実習日数を確保できました。
薬局	7.充実した実習環境と指導体制の構築	早い時期からの在宅経験	早い段階から投薬体験や在宅体験、施設訪問、学校薬剤師などを体験し、早くから投薬、在宅、施設で患者さんと関わることで患者さんと話すときの緊張感に慣れることが出来たり、話すリズム、施設や学校などで薬剤師がどのような業務を行っているのをつかむことが出来た。
薬局	9.その他	製薬メーカーの見学	製薬メーカーのラインの見学だけでなく品質管理の部屋も見学させていただき、大学で学んだ溶出試験機や液体クロマトグラフィーなど実際に使用しているところを見ることができ理解が深まったと思われる。
薬局	9.その他	薬局において調剤した軟膏ミックス製剤の安定性試験の実施	薬局で実際に調剤された軟膏ミックス製剤において、先発品とジェネリックにおいて安定性試験を実施した。2週間後に観察した際、大きな違いがあったことから、主成分が同一であっても安定性に差があることを学習することが出来た。
薬局	9.その他	深堀シートによる対応患者の治療へのより深い理解	深堀シート（特定施設ではなく岡山県共通使用）を用いることで、保険薬局で継続的に薬学的管理を行う来局患者や在宅患者の治療や指導を深く学修できるようになり、病院薬剤師にも実習生の薬局での成長を把握するのに役立てることができた。
薬局	9.その他	無料抗原・PCR検査事業への対応	薬局のみで行っている、地域の住民を対象とした抗原・PCR検査事業に参加することで薬剤師の地域貢献の実態を学ぶことができた。
薬局	9.その他	構音障害の患者さんへの投薬	構音障害の患者さんへの服薬指導を通して、通常のコミュニケーションとは異なった取り方などを学べたことは良い経験となった。
薬局	9.その他	医薬品卸での見学実習	医薬品卸での見学実習が行われ、医薬品流通の実際や麻薬等の管理状況、現在の医薬品出荷調整の原因や状況等を学ぶことができた。また、地下鉄サリン事件、熊本地震、コロナ禍等の非常時における医薬品卸の活動についても学んだ。
薬局	9.その他	卸の見学	卸に見学に行ったことで、卸の管理体制や状況を詳しく知ることができた。
薬局	9.その他	薬業連携への参加	薬業連携の一環で企画された研修会に近隣病院の薬剤部と地域の薬局と一緒に参加することができた。
薬局	9.その他	学校薬剤師の仕事	学校現場に行くことはできなかったが、学校と同じように薬局内の環境衛生検査を一通り行い薬局内の環境を評価することができた。
薬局	9.その他	実習生の特性を理解した指導方法	物事の受け取り方・感じ方・表現の仕方が少し独特な学生に対し、学生が理解しやすい伝達方法（耳で聞くより目で見ることが得意等）を理解して指導して下さった
薬局	9.その他	実習実施について	親しみやすく、分からないことがあっても分かりやすく丁寧に教えて頂けること。また、珍しい事例に対して積極的に呼んでもらい、内容を学ばせて頂けること。
薬局	9.その他	実習実施について	・指導に感情的な部分が一切なかったところ。・改善点を明確に示して指導してくれたところ。・知識が豊富だったところ。・自分の考えや仮説を確立してたところ。・一旦私の意見を受け入れてくれるところ。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
薬局	9.その他	スポーツを通じた薬局の地域貢献	薬局がプロバスケットボールのスポンサーという形でかかわるだけでなく、薬局内でも地元のスポーツを全力で応援しておられる方がほとんどでした。活気にあふれ、人とのつながりを強く感じる地域貢献に胸を打たれました。薬局の地域貢献の可能性の広さに感動しました。
薬局	9.その他	学校薬剤師の業務	自分が小中学生や高校生の時にきちんと衛生管理されていたのは薬剤師が定期的に確認に来てくれていたことを、改めて実感できた。
薬局	9.その他	実習施設の特徴に応じた貴重な経験	近隣の国立病院の処方箋が取扱中約9割の実習施設。近隣の国立病院には血友病科があり、指導薬剤師も血友病関連で講演されることがある先生であるため、実習前から血友病について勉強するなど、貴重な経験となった。
薬局	9.その他	薬局製剤への関わり	実際に薬局製剤（UHクリーム）を作る機会があった。（体験と違い、実際の売り物として作るので2kgのクリームを作った）
病院	1.薬物療法の実践	医療現場におけるEBMの実践、ビッグデータの活用	●●●のFISMOを用いて、甘草製剤使用患者におけるカリウム値の検査状況、メトトレキサート製剤使用患者における葉酸の処方状況などを調査し、医師への情報提供の必要性について学習することができた。
病院	1.薬物療法の実践	処方削除提案	処方削除提案することでポリファーマシーを防ぐことの大切さを知る機会を得た。
病院	1.薬物療法の実践	薬局と病院でのパーキンソン病患者の介入の相違	薬局実習でパーキンソン病の患者の服薬指導に関わり、薬剤調整の難しさや病態の進行による処方提案をした後、病院ではパーキンソン病の手術適応に介入することができたことで、治療法について深く学べた。
病院	1.薬物療法の実践	薬物療法の実践	ガイドラインや適正使用ガイドなどの文献から情報を調べる方法を初期に教えていただけたので、日誌を書くときに参考にすることができた。毎週金曜日に今週あったことや感じたことを先生と話す機会があり、実習状況を積極的に把握していただいている。
病院	1.薬物療法の実践	薬物療法の実践	基本的にわからないことがあれば、まず自分で考えるが、最後には教えてもらえること。
病院	1.薬物療法の実践	バンコマイシン投与設計における気づき	座学で有効域の検査値を暗記するが、薬物血中濃度に限らず、得られた数値は必ずしも絶対的なものではないエラーの可能性を考慮して投与設計を提案することも重要だと学ぶことができました。
病院	1.薬物療法の実践	がん患者及び非がん患者に対する薬剤管理指導実習の実践	全ての実習生が、入院中のがん患者及び非がん患者を受け持ち、代表的な8疾患に対する継続的な薬剤管理指導実習を実践することができた。
病院	1.薬物療法の実践	小児に対する薬剤管理指導業務の実践	小児科病棟における薬剤管理指導業務を体験し、退院後のコンプライアンスの維持には薬剤師が重要な役割を担っており、薬局や学校との連携が重要であることを学ぶことができた。
病院	1.薬物療法の実践	がん化学療法における副作用モニタリングの実践	抗がん薬による副作用のモニタリングを体験し、処方提案など薬剤師が多様なアプローチで治療に貢献している一方で、有効な予防法や治療法が確立されていないなどの問題点についても検討することができた。
病院	1.薬物療法の実践	実践的な処方提案	実際の患者さんのデータを使って処方提案をする課題をいただき、実践的に学ぶことができた
病院	1.薬物療法の実践	がん化学療法における薬剤師の役割	がん化学療法を行う病棟で、薬学的な管理について実践的に学び、最後に症例発表等を行うことで、薬剤師の役割について総合的に学習できた。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
病院	1.薬物療法の実践	がん患者及び非がん患者に対する薬剤管理指導実習の実践	全ての実習生が、入院中のがん患者及び非がん患者を受け持ち、代表的な8疾患に対する継続的な薬剤管理指導実習を実践することができた。
病院	1.薬物療法の実践	8疾患を網羅して学ぶ。	講義と複数病棟を回ることで8疾患を満遍なく学べた。
病院	1.薬物療法の実践	外来化学療法を受ける患者に対する薬学ケアの実践	外来のがん患者さんと関わることができ、服薬指導もするところで抗癌薬の副作用やそれに対する対策などを知ることができ、勉強になりました。また、患者さんによっては実習頑張っってねと言ってくれる方もおり嬉しかったです。
病院	1.薬物療法の実践	薬局では関われなかった希少疾患小児患者や産科患者への深い関与	8疾患の症例はもちろんのこと、薬局では出会えなかった小児や産科の症例にたくさん触れることができ、今まで習ってきた薬剤の適応や初めて見る薬の効能や適応を学ぶことができていたので充実していた。
病院	1.薬物療法の実践	継続的な観察	患者さんの様子をカルテから見たり、実際に患者さんの元を訪ねたりして、継続的に経過の観察を行うことができ、治療が奏功している、または薬の変更や治療方法の変更などを検討することができ、とても勉強になりました。
病院	1.薬物療法の実践	実症例の体験	パーキンソン病での震えや抗がん剤治療の副作用の手足症候群など病態・薬効、副作用を実際の症状として現れるものを見ることが出来たので、薬効・薬理などのイメージが具体的に出来るようになったと思う。
病院	1.薬物療法の実践	処方解析の充実	種々の疾患の処方箋を扱うことが多くそこから処方解析を行い適応疾患や用法用量が正しく処方されているか、なぜこのような用量で処方されているのか腎機能や他の薬との相互作用を考えて調剤を行うことで自分がより薬効薬理の知識を深めることが多く毎日勉強になると感じた。
病院	1.薬物療法の実践	ロールモデルの存在	患者さんに対し、薬以外のことでもどんなことをしてあげられるのかを必死で考え行動している薬剤師の先生方の働く姿を見て、薬剤師職能について（良い意味で）様々なことを考えさせられた。
病院	1.薬物療法の実践	治験業務への関わり	全国的にも珍しい治験について実習させて頂いた。治験業務における薬剤師の役割を認識できた。
病院	1.薬物療法の実践	がん患者及び非がん患者に対する薬剤管理指導実習の実践	全ての実習生が、入院中のがん患者及び非がん患者を受け持ち、代表的な8疾患に対する継続的な薬剤管理指導実習を実践することができた。
病院	2.在宅医療における薬物療法の実践	在宅医療における薬剤師の役割	北海道内の地方都市において、ケアマネージャーに同行し、在宅訪問を行った。医療資源の不足から、薬剤師が在宅医療に十分に関与できていない事例だったが、在宅訪問を通じ、薬学生と担当の大学教員が共同で、薬学的な患者の問題点とフォローアップすべき事項をピックアップし、ケアマネージャーにフィードバックした。
病院	2.在宅医療における薬物療法の実践	在宅医療	癌の患者さんの初回投与に立ち会えた。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
病院	3.医療連携の体験	地域医療・福祉との連携	病院外との連携として、お薬手帳への薬剤情報の記載を工夫されていたことが大変印象に残った。実習病院では、入院中に処方薬が変更になった患者さんのお薬手帳に入院中の薬剤変更の詳しい理由を記載し、かかりつけの医院や薬局、施設の方が処方薬について把握するための工夫が行われていた。薬局実習の際に、前回処方と比較して開始理由や中止理由のわからない薬剤があり、頭を悩ませた経験があったことから、地域との連携では、患者さんだけでなく、退院後に患者さんに関わっていく方々への配慮も必要であることを学んだ。
病院	3.医療連携の体験	医学部医学科臨床実習と連携した参加型実務実習	7診療科（腎臓内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、消化器内科、血液・膠原病内科、脳神経内科）の医学部臨床実習に参加し、医師の診断や治療方針の決定を、医学科生と一緒に学習することが出来た。
病院	4.チーム医療の実践	臨床現場でしか体験できないこと	薬剤師の業務に限らず、他職種の見学(理学療法士によるリハビリの様子、臨床検査技師によるクラスマッチ試験や疥癬の検出、看護師による訪問看護など)や手術の見学(ストリッピング法、PCI、椎体形成術)など臨床現場でしか体験できないことをさせて頂きました。
病院	4.チーム医療の実践	実習生の退院時共同指導への参画	退院時共同指導に参加し、チーム医療を実感できた。
病院	4.チーム医療の実践	様々なチームラウンドへの参加	ICT、AST、褥瘡、NSTなど様々なラウンドに参加させていただくことで、具体的にどのような取り組みをしているのか、病院内での薬剤師の立ち位置等がよく分かった。
病院	4.チーム医療の実践	がん患者及び非がん患者に対するチーム医療実習の実践	全ての実習生が、入院中のがん患者及び非がん患者を受け持ち、代表的な8疾患に対する継続的なチーム医療実習を実践することができた。
病院	4.チーム医療の実践	多職種連携会議への参加	入院患者さんに関して、多職種連携でどうやってサポートしていくかの会議に参加させていただいた。職種によって意見が分かれていたが、うまくまとまっていくプロセスを知り、プロとしての仕事をするこの意味を感じることができた。
病院	4.チーム医療の実践	カンファレンス、チーム医療の参加や他部署の見学	カンファレンスやチーム医療の参加、手術の見学、各科の見学（臨床検査、栄養、放射線、透析室、臨床工学）などを通じ、チーム医療における薬剤師の重要な役割を体験することができた。
病院	4.チーム医療の実践	がん患者及び非がん患者に対するチーム医療実習の実践	全ての実習生が、入院中のがん患者及び非がん患者を受け持ち、代表的な8疾患に対する継続的なチーム医療実習を実践することができた。
病院	4.チーム医療の実践	認知症チームへの参加	院内の多職種からなる「認知症チーム」の活動に参加し、認知症患者の実際や院内での対応状況等を理解することができた。また、薬剤師としてどのような貢献ができるのかを考える契機となった。
病院	4.チーム医療の実践	看護業務の体験	病棟において看護師の業務を見学・体験することで、看護師の役割を学習することができた。
病院	4.チーム医療の実践	他職種との情報共有および連携	実際に栄養士や理学療法士、医師や看護師との情報共有など他職種連携を経験することができた。
病院	4.チーム医療の実践	他職種学生との合同症例検討	医学部生および看護学部生と合同で症例検討を行い、症例に対する他職種の関わり方の違いや連携の重要性について深く学ぶことができた。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
病院	4.チーム医療の実践	カルテ記載	チーム医療において、多職種の業務内容を理解するためには簡潔で正確なカルテ記載が必要である。他の医療従事者に患者情報をカルテに記載して伝えることが難しかったが、繰り返しご指導頂いて記載することができた。
病院	4.チーム医療の実践	医師、看護師、栄養士らからのコメントによるフィードバック	院内の研修会で聴いた内容を毎回レポートにまとめ提出した。10回以上あったが、その都度、講師をされた医師、看護師、栄養士、リハビリ職の方々からレポートに対するコメントやアドバイスをもらった。これは非常に勉強になった。
病院	4.チーム医療の実践	医師からの信頼感が絶大の薬剤師業務を目の当たりにできたこと	小児科やほかの科でも医師の薬剤師に対する信頼感が絶大だった。薬剤の投与設計を医師から求められ、それに対して即座に答えていた。非常に感銘を受け、このような薬剤師になりたいと思った。
病院	4.チーム医療の実践	ECTの見学	精神科で行われる唯一の手術であるECTを見学を通してECTにおける麻酔薬や筋弛緩薬、患者さんによっては降圧薬や吐き気止めなどを準備するといった連携を学ぶことができました。
病院	4.チーム医療の実践	病院における他職種連携	チーム医療や病院内の他部署を見学できたことで、他職種との関わりを意識しながら病棟業務に取り組むことができた。医師や看護師以外の部署は何を行う部署であるのか詳しくは知らないところも多かったため、より解像度が上がったと思う。
病院	4.チーム医療の実践	他職種見学	他職種部門見学のほか救命や手術室やなどの病院ならではの部門をたくさん見学させて頂いた。病院での医療連携について関心が持てた。
病院	4.チーム医療の実践	がん患者及び非がん患者に対するチーム医療実習の実践	全ての実習生が、入院中のがん患者及び非がん患者を受け持ち、代表的な8疾患に対する継続的なチーム医療実習を実践することができた。
病院	4.チーム医療の実践	看護研修による患者ケアとチーム医療の実践	看護部と連携した看護研修を実施し（各学生1日）、看護業務の見学により、医療サービス、チーム医療を理解すると同時に、医療安全、感染管理の実際を学習することができた。
病院	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	薬局・病院で一貫した実習テーマ	薬局・病院で一貫した実習テーマを行うため、月1回の割合でグループ協議会を行った。
病院	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	地域の医療機関との連携	北海道内の地方都市の病院と診療所、薬局、介護施設などの施設において、地域包括ケアにおける他職種および薬剤師の連携とその役割を学んだ。
病院	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	看護学生とのチーム医療に関するSGD	実習先病院の附属看護学校学生とチーム医療に関するSGDをおこなった。「他職種」の役割と連携の意義を学ぶことができた。
病院	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	へき地医療への参画及び災害時医療の体験	地域の基幹病院で実習中の学生が、1日、山間部にあるグループ病院に連れて行ってもらい、へき地医療を体験した。また、災害時医療の専門家である院長から災害医療についてのレクチャーをしてもらい、大いに学習することができた。
病院	5.協力薬局／病院とのグループ（他施設）実習の実施	成果報告会への薬局指導薬剤師の参加	病院での成果報告会に同グループ薬局の指導薬剤師も参加し、討論等を行った。
病院	6.地域包括ケアの実践	地域包括ケアの実践	北海道内の地方都市の病院と診療所、薬局、介護施設などの施設において、地域包括ケアにおける他職種および薬剤師の連携とその役割を学んだ。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
病院	6.地域包括ケアの実践	地域医療の重要性	成果発表会で糖尿病患者さんの症例報告を発表した。糖尿病の病態、インスリンの比較、服薬指導の実際について、一人の患者さんについて入院時から退院、在宅医療への引継ぎなど一連の流れに沿って詳しくまとめられた発表ができ、質問にも明確に答えることができた。 発表後、「薬薬連携ははじめ治療は病院だけでなく地域で完結する形にしていくことが大事」とのお話があった。
病院	6.地域包括ケアの実践	在宅実習の実践	療養型病院であり、在宅訪問も実施している。この在宅訪問を実践することで、地域包括ケアにおける病院の役割を学習することができた。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	指導環境の充実	ガイドラインだけでは解決できない課題についてより深く知ろうとする学生に対して、指導薬剤師から学生が適切に文献検索ができるようアドバイスが与えられていた。学生が患者を訪問し信頼関係を構築しやすいような環境であった。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	病院での実習成果報告会への薬局指導薬剤師の参加	病院での実習成果報告会への薬局指導薬剤師が参加した。実習内容についてグループ内の薬局・病院双方の指導薬剤師間で共有することができた。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	関連病院における合同成果発表会	関連病院が合同でグループ薬局とともに学生の成果発表会を実施されており、他病院でも実習内容についても学ぶことができた。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	輸液に関する実践的介入	薬局では行わなかった体験(高カロリー輸液の調製、NSTなどのチーム医療カンファレンスへの参加)が出来る点が良いと思います。カリウム濃度や中毒に対する解毒剤についてなど、学校で習った内容が現場でも見られるため勉強になっています。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	手術室やその他の病院部署における実習	実習ではオペ室で麻酔の導入から見学したり栄養室や、放射線室、リハビリなど色々な部署を見ることができて、チーム医療の重要性を学ぶことができました。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	幅広い年齢層の患者への関わり	小児や妊産婦の稀な疾患について学ぶことができる点はこの病院で実習ができて本当に良かったと思います。また、日々新しいことを多く学ぶことができています。特に小児から高齢者まで幅広い年齢層の方に服薬指導に行くことができています。点、注射剤やTPN、抗がん剤などの薬局では触れることのできなかつた薬剤について深く学べている点が勉強になっていると感じます。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	具体的な症例に対するロールプレイの充実	医療用麻薬についてのロールプレイを行うことで、知識が深まり、より良い服薬指導について学ぶことができました。これらの実習内容はとても有意義なものでした。介入を続けていた患者2名が快方に向かい退院を見届けられたことは、嬉しかったです。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	大学-実習施設間の連携	WEB会議システムを用いた大学-実習施設間の打合せや相談・面談が、対面実施と比べても遜色なく行うことができた。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	あえて不適とされている薬剤投与方法や手技の実践	簡易懸濁について学んだ時に不適の薬をあえて懸濁させる実験をしました。その他にバイアルの陰圧操作を陽圧でするとどうなるのか、一包化不適のものを一包化するとどう変化するのかなど口頭だけでなく実践形式でさせて貰ったことは良い経験となった。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	新生児室での体験	新生児室に案内していただき、新生児に処方された散剤を少量のぬるま湯で溶解し、スポイトで新生児に投与などを体験し、通常の投与方法とは大きく異なることを体験し、投与方法に対して視野を拡げることができた。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	県内の他の実習生との意見交換会	県病院薬剤師会が主催した県内の他の実習生との意見交換会に参加することで、様々な病院での実習内容を把握することができた。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	自分で考える力を引き出す指導	ただ内容を教えるのではなく、どう考えれば良いのかや注意するポイントを教えてくださったので、自分なりに考えて答えを出す力が身に着いた。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	多くの病棟における薬剤師業務の体験学習	病棟業務や薬剤師の役割を学んだだけじゃなく、多職種の業務や関わりについても学ぶことができた。多くの病棟業務を経験することで病態と薬物治療について重点的に学べた
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	充実した無菌調製実習	多くの無菌調製を実施する機会をいただき、無菌調製の実践的な注意点について学習できた。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	多くの疾患領域に対する体験実習環境	講義により薬剤師業務の全体像について理解した上で、病棟業務の実習を行ったため、戸惑いなく病棟活動を実施できた。また、1週間毎に違う病棟に行けたため、様々な疾患領域について学ぶことができた。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	質の高い病棟業務の適切な指導	病棟業務を指導する薬剤師のレベルが一定しており、学生にプロブレムリストを作成させ、フォーカスを明確にして介入について指導いただいた。これにより、学生が患者に何をすべきかを理解でき、チーム医療への参画や処方提案等の体験も積極的に行い、学生にとって有意義な経験となった。 学生はチーム医療への参画や処方提案等の体験を通して、学生は様々な症例に接することができ、また質の高い指導により学生の情報収集能力や解析力に成長が見られたと感じられた。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	症例発表会	病棟業務等の実習で触れた個別症例をフォローアップし、実習生が発表資料としてまとめ、指導薬剤師および他の実習生に発表する形式での症例検討会が定期的に実施された。これにより、学生の症例に対する理解度が比較的客観性高く評価できると同時に、当該学生の理解不十分な点をフォローアップできるだけでなく、関連内容を実習生全体で共有することとなり、全体でのレベルアップにもつながっている。学生は症例のまとめを通じて、病態や薬学的な知識を断片的ではなく、一連の流れとして論理的に理解できるようになった。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	病棟実習	実習スケジュールはメイン病棟と各病棟の組み合わせでちょうど良かった。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	多業種の体験および見学	多職種の仕事を体験、見学することができ、多職種への理解を深めることが出来た。 指導薬剤師1人に対して、実習生が1人の体制で学ぶ期間があること、患者さんへ継続的な管理ができたのが良かった。 また、精神科へ力を入れており、3つの精神科の病棟ごとの違い、精神科への患者さんへの指導をすることが出来た。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	コロナ感染症への迅速な対応	実習学生のコロナ感染症罹患時、迅速に、明確な指示と連絡が各所に伝達され感染拡大を防ぐことができた。また当該学生の実習出席停止期間には、自宅学習課題を課すことにより滞りなく実習を進めることができた。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	多職種連携	カンファレンスに多く参加させていただいた。教授の方を交えたカンファレンスや一人の患者さんにのみ焦点を当てた個人カンファレンス、また栄養サポートの面でのNSTカンファレンスなど様々な方面からのものに参加させていただいたのが、より多職種連携の意味を理解することが出来てとても勉強になった。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	学生の性格を理解した指導方法	実習生は真面目・慎重・マイペースな性格であるが、それを理解し大切に指導してくださったので、成長し実力を発揮できた。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	無菌グローブボックス（アイソレーター）の経験	抗がん剤調製時に安全キャビネットではなくアイソレーターを使用したことで、ガウン、キャップが不要、時間効率が良い、可動域が安全キャビネットに比べて大きいこと、手袋を装置に手に合うように付けなければならないので、少し難しく、可動域は広いが操作に慣れるまでし時間がかかることを実感することができた。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	充実した実習環境	新しい診断・治療のガイドラインや治療薬の情報文書が揃っていた。特に感染症は充実していた。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	充実した実習環境と指導体制	指導薬剤師による丁寧なサポートに加えて、その他の薬剤師からも実習生に優しく教えていただけた。また、調剤、講義、服薬指導、チーム医療と病院薬剤師の役割をほぼ全て学ぶことができた。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	卒後3～4年の薬剤師を若手指導役として学生に配備	主たる指導薬剤師の他に、卒後3～4年の若手薬剤師を各学生に1名ずつチューター・相談役とするシステムを試みで始められた。学生たちには、年も近く、一緒に学ぶ感覚で相談が出来たと大変好評であった。学生はのびのびと実習出来、一方、若手薬剤師も指導者としての経験を積むことで成長し、良い試みであったので今後も継続するとの事であった。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	病院実習報告会への薬局薬剤師の参加	病院実習報告会に発表学生が実習した薬局の指導薬剤師も参加した。薬局指導薬剤師も議論に参画し、充実した発表会となった。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	実習内容の成果発表に対する指導体制	1. 最終的な発表会を実施する施設が多くなってきたため、時にその日程が重なることがある。今回、最終発表会の日程が他施設とブッキングして参加できない施設のプレ発表会に担当教員が参加させてもらった。プレ発表会であったが、指導薬剤師だけでなく複数の薬剤師が参加されて、パワーポイント内容やプレゼン方法の改良など多方面から報告書作成の指導をいただいた。新人薬剤師にも行っている普段の指導体制を目の当たりにさせてもらった。 2. 各病院で実施される実習の最終的な発表会は実習施設の指導薬剤師を含むスタッフのみで行われることが多いが、少数ではあるが薬局の指導薬剤師も参加して行われた施設があった。薬局での実習を踏まえてのコメントや病院での成長も確認されるなど活発な意見交換があり、また薬業連携の意見交換なども行われ学生にとっても病院・薬局双方の薬剤師にとっても非常に有意義なものとなっていた。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	治験審査委員会への参加など、特徴的な実習の実践	治験薬管理部署で治験審査委員会の実際を見学できた。また、薬局では扱っていない診断用医薬品に触れることができた。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	外来化学療法を受ける患者に対する薬学ケアの実践	がん患者への化学療法の初回指導でレジメン説明などを行ったことができ、大変勉強になった。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	手術室における実習	手術室において実際の手術を見学でき、貴重な経験となった。

病院／薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	TDMの実践	TDMを使つての抗菌薬の有効血中濃度の確認と、投与設計を考える実習はとても勉強になった。
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	病棟における自己注射の服薬指導の実践	骨粗鬆症の自己注射の服薬指導を1つ1つ手順を確認しながら行いました。その時患者さんから「丁寧な説明で分かりやすかった。ありがとう。」と言っていただけたことが嬉しかった
病院	7.充実した実習環境と指導体制の構築	心臓リハビリテーションカンファレンスへの参加	心臓リハビリテーションカンファレンスに参加し、薬剤師が検査値の異常はないか、処方薬が原因で検査値の異常が起きていないか確認し、必要に応じて医師へ提案を行うなど、薬剤師の存在意義を感じたカンファレンスのひとつとなった。
病院	8.災害時医療の体験	災害医療訓練への参加	『ランサムウェアによるシステム障害が発生』と『南海トラフ地震発生（震度6弱）』を想定した医療災害訓練に参加させていただいた。
病院	8.災害時医療の体験	災害時医療の研修	災害医療について日赤の取り組みをまなぶことができた。
病院	8.災害時医療の体験	チーム医療・災害時医療への参加	チーム医療、災害時医療を1週間行った。指導薬剤師がDMATの一員であるため、日本赤十字社の災害時医療チームの話など直に詳しく聞くことができた。
病院	8.災害時医療の体験	能登半島地震 避難所から実務実習 ～被災者に寄り添う薬剤師に～	https://pnb.jiho.jp/article/234450
病院	8.災害時医療の体験	能登半島地震への対応	DMATについて実際の活動談（能登半島地震）を聞くことができたことについて、大規模災害が起こったことは不幸でしたが、実際の話リアルタイムで聞くことができ貴重な機会となった。
病院	8.災害時医療の体験	医療班の派遣	能登半島地震に実際に医療班の一員として派遣されていた薬剤師のお話を聞いた。災害時の薬剤師の役割を認識できた。
病院	8.災害時医療の体験	DMATや救護班の派遣	今回の実習中に能登半島地震が発生した。実習施設では、DMATや救護班の派遣を行い、薬剤部からも薬剤師が派遣された。これに伴い、学生は、他の病院との連携や病院内での薬剤師の動き（派遣者をカバーするための勤務体制の変更など）を実際に目にすることができた。薬剤部が災害医療に積極的に関与していることを肌で感じる事ができた。特異な事例ではあるが、薬剤師を災害地に派遣することで薬剤部内の体制が大きく変化し、医療における薬剤師の活躍やその役割を実際に体験することができたことは、非常に貴重な経験であったと思われる。
病院	8.災害時医療の体験	能登半島地震に派遣された薬剤師の報告会への出席	能登半島地震に派遣された薬剤師の報告会への出席し、現在進行形の話をお聴きしたことは非常に勉強になりました。
病院	9.その他	実習生の所属大学の偏りのなさ	実習生6名が全て異なる大学の学生であったが、そのことによりお互いに協力したり助け合ったりする姿勢が高められたようであった。
病院	9.その他	実習実施について	定期的に面談があり、困ったことがないか聞き取ってくれたこと
病院	9.その他	病棟薬剤師の在り方と他職種連携への理解	カンファレンスや病棟薬剤師の業務を通して、薬剤師に求められていることは何か、患者さんに合わせた薬物治療にするためにはどのようなことを考えなければならぬかを考え、学ぶことができた。また、実習後半には他部署研修をさせていただき、他職種の方が普段どのような活動をされているのか、どのようなことを大切にしているのかを学べたことは、他職種との連携が求められる中でとても貴重な経験だった。

病院/薬局	カテゴリー	よい実習を行った各施設の特徴（見出し）	具体的な説明（概要）
病院	9.その他	リモート合同発表会への参加（7月28日〔金〕）	通常、沖縄県病院薬剤師会では実習の終わりに合同の対面式発表会を行っているが、近年ではコロナ禍ということでzoomを用いたリモート合同発表会となっている。これにより、大学教員も参加が可能となった。我々教員は一部参加であるが1名が出席し、学生1名の実習成果をオンラインで聴講することができ、実りある発表会であることが確認できた。
病院	9.その他	リモート合同発表会への参加（8月2日〔水〕）	●●●より実務実習発表会へ招待された。今回の発表会はオンラインで中継することによって、大学教員も参加が可能となった。我々教員も1名が出席し、本学2名の学生の実習成果をオンラインで聴講することができ、実りある発表会であることが確認できた。
病院	9.その他	リモート合同発表会への参加（10月27日〔金〕）	●●●より実務実習発表会へ招待された。今回の発表会はオンラインで中継することによって、大学教員も参加が可能となった。我々教員も2名が出席し、本学1名の学生の実習成果をオンラインで聴講することができ、実りある発表会であることが確認できた。
病院	9.その他	育児中の実習生への配慮	子育て中の実務実習となった状況を理解していただき、帰宅時間の調整や子供の体調等によりやむを得ず実習を休んだ際の補講など臨機応変に対応していただいた。
病院	9.その他	期間延長による臨地実習補講（3施設の病院）	コロナ感染に加えて、インフルエンザ感染により実習欠席の学生も多い中、今まで遠隔実習で対応していただいた病院施設も、今期が月曜～金曜が52日という事もあり、実習期間を過ぎてから11/6以降に臨時補講をしていただく施設が増えて、予定の実施計画を全て終えることができた。
病院	9.その他	指導薬剤師と大学教員の連携	実習開始当初、実習への取り組みが不十分な学生があり、指導薬剤師から教員へ対応に苦慮している旨の連絡があった。 以降実習期間中、問題点を指導薬剤師と情報交換しながら、指導薬剤師の指導と並行して教員も改善すべき点の指導を行い実習を全うすることができた。 指導薬剤師と教員が情報共有・交換しつつ、早期から連携して対応することで改善できた事例である。
病院	9.その他	患者に寄り添った対応	薬局実習時に学び経験したことを身につけ、病院実習の患者対応において、患者の目線で患者に寄り添い対応できた。成果発表では「がん外来」をテーマに取り組み、他実習の合間にも患者の来院に合わせがん外来に出向いては対応を行い、しっかりとまとめあげることができた。
病院	9.その他	実臨床の現場でしか得られない経験	妊婦のお薬相談に参加したり、妊娠中の服薬について学び、「妊娠とくすり」を題材とし成果発表をした。 薬剤師の多角的な視線での確かな説明をする様子、相談者の不安に寄り添う姿など、実臨床の現場でしか得られない経験を発表し質疑応答に応じることができた。